

日本体操協会

■公認体操指導員（一般体操・新体操・体操競技指導員）

養成目的 地域スポーツクラブやサークルにおいて、子どもから高齢者まで幅広い年齢層を対象に体操の基礎的実技指導にあたる指導者を養成する。

役割 健康の維持増進を目的としたプログラムに則り、様々な運動経験と遊びを通した身体づくりと動きづくりを主眼においた指導にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在満20歳以上で、スポーツクラブ等における指導にあたる者。またはこれから

指導者になろうとする者。

カリキュラム 共通科目35h（共通Ⅰ） 専門科目40h

受講料 共通科目 21,000円 専門科目 14,700円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本体操協会が定める研修または日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（定める）研修を受けなければならない。

担当委員会 日本体操協会 一般体操委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に応じた基礎理論	① 体操の特性	1h	0h	1h
	② 体操の歴史	2h	0h	2h
	③ 現代における体操の意義Ⅰ	1h	1h	2h
	④ 体操の分類	1h	1h	2h
	⑤ 体操の基本的な動き・基本姿勢	1h	0h	1h
	⑥ 体操と音楽Ⅰ	0h	1h	1h
	⑦ 指導法Ⅰ	1h	1h	2h
	⑧ 目的・対象に応じた指導Ⅰ-a	1h	0h	1h
	⑨ 健康のとらえ方Ⅰ	2h	0h	2h
	⑩ マネージメント論Ⅰ	2h	0h	2h
	計	12h	4h	16h
2 実技	① 徒手Ⅰ	3h	0h	3h
	② 手具Ⅰ	4h	0h	4h
	③ 器具Ⅰ	3h	0h	3h
	④ 組（組立て・組運動）	2h	0h	2h
	⑤ 救急処置法Ⅰ	2h	0h	2h
	⑥ 実践指導	3h	0h	3h
	計	17h	0h	17h
3 指導実習	① 指導計画の立案、実施、評価	1h	0h	1h
	② 目的・対象に応じた指導Ⅰ-b	0h	4h	4h
	③ 現場実習	0h	2h	2h
	計	1h	6h	7h
		30h	10h	40h

《日本体操協会公認体操指導員資格》

専門科目のみ受講し、日本体操協会公認資格（体操指導員）を取得希望する者は、日本体操協会に問い合わせること。

■公認体操上級指導員（一般体操・新体操・体操競技上級指導員）

養成目的 地域クラブにおいて、年齢・競技レベルに応じた体操実技指導にあたるとともに、スポーツ教室などの企画立案に参画できる指導者を養成する。

役割 年齢に応じた指導にあたるとともに、地域スポーツクラブなどが実施する体操教室や各種イベントの事業計画の立案に参画する。また、体操指導員の育成指導にあたる。

受講条件 体操指導員有資格者で、受講年度の4月1日現在で満22歳以上の者。スポーツクラブなどにおいて、中心的な役割を担っている者。またはこれから中心的な役割を担う者。

カリキュラム 共通科目70h（共通Ⅰ＋Ⅱ）専門科目30h

受講料 共通科目 14,700円（共通Ⅰ免除者は8,400円）専門科目 10,500円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本体操協会が定める研修または日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（定める）研修を受けなければならない。

担当委員会 日本体操協会 一般体操委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に応じた基礎理論	① 現代における体操の意義Ⅱ	1h	1h	2h
	② 体操と音楽Ⅱ	1h	1h	2h
	③ 指導法Ⅱ	1h	1h	2h
	④ 健康のとらえ方Ⅱ	2h	2h	4h
	⑤ マネージメント論Ⅱ	2h	1h	3h
	⑥ 指導現場における現状（グループディスカッション）	1h	0h	1h
	計	8h	6h	14h
2 実技	① 基本運動（徒手・ストレッチ）Ⅱ	3h	0h	3h
	② 組Ⅱ	2h	0h	2h
	③ 手具Ⅱ	3h	0h	3h
	④ 器具Ⅱ	2h	0h	2h
	⑤ 救急処置法Ⅱ	2h	0h	2h
	計	12h	0h	12h
3 指導実習	① 目的・対象に応じた指導Ⅱ-b	0h	2h	2h
	② 現場実習	0h	2h	2h
	計	0h	4h	4h
		20h	10h	30h

《専門科目における講習・試験の免除》

下記1～3のいずれかを専門科目申請書（別紙）に記載した者については、その内容・程度に応じ、または別に定める基準により、日本体操協会一般体操委員会指導者育成部が審査の上、免除科目を決定する。

1. 日本体操協会が主催した指導者に関する講習・研修を受講した者
2. その他、関係機関の指導資格を有する者
3. 体操を現場で指導した実績期間

付則：この規定は、2008年4月1日から施行する。

■公認体操コーチ（新体操コーチ）

養成目的 競技者育成プログラムに基づき、都道府県内レベルで競技者の発掘・育成にあたる指導者を養成する。

役割 競技者育成プログラムの指針に基づいた指導にあたるとともに、広域エリア内の有望競技者の強化指導にあたる。また、各都道府県体操協会における競技者育成システムの研究開発に参画する。

受講条件 受講年度の4月1日現在満24歳以上及び日本体操協会公認審判員で、都道府県体操協会の推薦を受け、日本体操協会の承認を得た者（免除条件については別途定める）。

カリキュラム 共通科目152.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）専門科目60h

受講料 共通科目 18,900円 専門科目 10,500円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本体操協会が定める研修または日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。

担当委員会 日本体操協会 コーチ育成委員会

	区分	カリキュラム内容		時間数		
				集合	その他	計
1	種目の特性に応じた基礎理論	①	新体操の変遷	1h	0h	1h
		②	情報収集と分析	2h	0h	2h
		③	ルールと審判法Ⅰ	0h	2h	2h
		④	コーチング論	2h	2h	4h
		⑤	指導計画の立案	2h	2h	4h
		⑥	対象・目的に応じた指導内容Ⅰ	2h	0h	2h
		⑦	競技者育成プログラムの活用法	2h	2h	4h
		⑧	新体操の特性と体カトレーニング法	2h	0h	2h
		⑨	新体操の戦術	2h	2h	4h
		⑩	メンタルトレーニングⅠ	2h	0h	2h
		⑪	栄養管理Ⅰ	2h	2h	4h
		⑫	マネジメント論Ⅰ	2h	0h	2h
				計	21h	12h
2	実技	①	表現法Ⅰ	2h	0h	4h
		②	救急処置法	2h	2h	2h
				計	4h	2h
3	指導実習	①	手具	5h	2h	7h
		②	バレエⅠ	2h	0h	2h
		③	コーディネーショントレーニング	2h	2h	4h
		④	筋力トレーニング	2h	2h	4h
		⑤	コンディショニングⅠ	2h	0h	2h
		⑥	現場実習	2h	0h	2h
				計	15h	6h
			40h	20h	60h	

《専門科目における講習・試験の免除》

下記1～3の何れかを専門科目申請書（別紙）に記載した者については、その内容・程度に応じ、または別に定める基準により、日本体操協会が審査の上、免除科目を決定する。

1. 日本体操協会または加盟団体が主催する指導者に関する講習・研修を受講した者
2. 公認指導員、公認上級指導員の資格を有する者
3. 優れた競技実績・指導実績・その他の実績を有する者
 - (1) 国内・国際大会で優秀な成績を収めた選手を育成する等、コーチとしての能力が優れていると認められた者
 - (2) 国内・国外での各種資格取得者
 - (3) JOCなどの在外研修経験者

付則：この規定は、2007年4月1日から施行する。

■公認体操上級コーチ（新体操上級コーチ）

養成目的 ナショナルレベルで活躍できる競技者の育成・強化にあたる指導者を養成する。

役割 トップアスリートの育成・強化にあたり、国際的な視野を持ち、日本体操協会において強化スタッフとして競技力向上策の研究開発に参画する。

受講条件 資格を取得後4年以上経過した公認体操コーチで、日本体操協会の推薦を受けた者（免除条件はなし）。

カリキュラム 共通科目192.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）専

門科目40h

受講料 共通科目46,200円（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ免除者は27,300円） 専門科目 16,800円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本体操協会が定める研修または日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。

担当委員会 日本体操協会 コーチ育成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数			
		集合	その他	計	
1	種目の特性に応じた基礎理論	① 日本の現状と世界の動向	2h	0h	2h
		② 新体操の情報戦略	2h	0h	2h
		③ ルールと審判法Ⅱ	2h	2h	4h
		④ トップアスリート指導論	2h	2h	4h
		⑤ メンタルトレーニングⅡ	2h	2h	4h
		⑥ 対象・目的に応じた指導内容Ⅱ	0h	2h	2h
		⑦ リーダーシップ論	2h	2h	4h
		⑧ 栄養管理Ⅱ	0h	2h	2h
		⑨ マネジメント論Ⅱ	2h	0h	2h
			計	14h	12h
2	実技	① 表現法Ⅱ	0h	2h	2h
		計	0h	2h	2h
3	指導実習	① 指導実践	4h	4h	8h
		② バレエⅡ	0h	2h	2h
		③ コンディショニングⅡ	2h	0h	2h
		計	6h	6h	12h
		20h	20h	40h	

■公認体操コーチ（体操競技コーチ）

養成目的 競技者育成プログラムに基づき、都道府県内レベルで競技者の発掘・育成にあたる指導者を養成する。

役割 競技者育成プログラムの指針に基づいた指導にあたるとともに、広域エリア内の有望競技者の強化指導にあたる。また、各都道府県体操協会における競技者育成システムの研究開発に参画する。

受講条件 受講年度の4月1日現在満20歳以上で、都道府県体操協会の推薦を受け、日本体操協会の承認を得た者。（体操競技経験者または体操競技指導者経験者）

カリキュラム 共通科目152.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ）専門科目60h

受講料 共通科目 18,900円 専門科目 10,500円 教本代 2,000円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本体操協会が定める研修または日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。

担当委員会 日本体操協会 コーチ育成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に応じた基礎理論	① 体操競技の特性	2h	2h	4h
	② 体操競技の歴史	2h	2h	4h
	③ 体操競技の技術構造1	2h	0h	2h
	④ 体操競技の特性に応じた体カトレーニング法1	2h	2h	4h
	⑤ 表現力	2h	2h	4h
	⑥ 安全対策	2h	2h	4h
	⑦ ルールと審判法1	2h	2h	4h
	⑧ コンディショニング1	2h	2h	4h
	⑨ コミュニケーション論	2h	2h	4h
	⑩ 対象に応じた指導内容と指導技術	2h	2h	4h
	⑪ 指導計画の立案とその評価1	2h	2h	4h
	計	22h	20h	42h
2 指導実習	① 技術トレーニング（基礎編）	12h	0h	12h
	② 体カトレーニング（ジュニア期）	2h	0h	2h
	③ バレエレッスン	2h	0h	2h
	計	16h	0h	16h
3 実技	① 救急処置・テーピング	2h	0h	2h
	計	2h	0h	2h
		40h	20h	60h

《専門科目における講習・試験の免除》

- 日本体操協会が主催した指導者講習・研修（審判講習会を含む）を受講した者受講した内容に応じ、日本体操協会コーチ育成委員会が審査の上、免除科目を決定する。
- 指導員及び上級指導員の資格を有する者
日本体操協会コーチ育成委員会が審査の上、免除科目を決定する。
- 一定の実技及び指導実績を有する者
 - 国際大会等で優秀な成績を取った者でコーチとして資質・能力が優れていると認められた者
 - 国際大会で優秀な成績を取った選手を育成する等、コーチとしての能力が優れていると認められた者
 - 国外での資格取得者
 - 在外研修者

上記の者については、日本体育協会と日本体操協会コーチ育成委員会が内容・程度を審査の上、免除項目を決定する。

■公認体操上級コーチ（体操競技上級コーチ）

養成目的 ナショナルレベルで活躍できる競技者の育成・強化にあたる指導者を養成する。

役割 トップアスリートの育成・強化にあたり、国際的な視野を持ち、日本体操協会において強化スタッフとして競技力向上策の研究開発に参画する。

受講条件 体操競技コーチ有資格者で、受講年度の4月1日現在で満24歳以上の者。都道府県体操協会の推薦を受け、日本体操協会の承認を得た者。（基本的に国際大会のコーチとなり得る物）

カリキュラム 共通科目192.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ）専門科目40h

受講料 共通科目46,200円（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ免除者は27,300円） 専門科目 16,800円

登録料(4年間) 10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

更新のための義務研修 資格登録有効期限4年間のうちに、最低1回は、日本体操協会が定める研修または日本体育協会（都道府県体育協会が実施する研修会を含む）が実施する（認める）研修を受けなければならない。

担当委員会 日本体操協会 コーチ育成委員会

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1 種目の特性に応じた基礎理論	① 体操競技の戦術	1.5h	2h	3.5h
	② 国際競技力の情報収集と分析の活用	1.5h	2h	3.5h
	③ 体操競技の技術構造2	1.5h	2h	3.5h
	④ 体操競技の特性に応じた体カトレーニング法2	1.5h	2h	3.5h
	⑤ ルールと審判法2	1.5h	2h	3.5h
	⑥ コンディショニング2	1.5h	2h	3.5h
	⑦ リーダーシップ論	1.5h	2h	3.5h
	⑧ 指導計画の立案とその評価2	1.5h	2h	3.5h
	計	12h	16h	28h
2 指導実習	① 技術トレーニング（応用編）	4h	2h	6h
	② 体カトレーニング（一般）	2h	2h	4h
	③ 技術指導法 プレゼンテーション	2h	0h	2h
	計	8h	4h	12h
		20h	20h	40h